

カリキュラム等の
改善に係る提案

矢 野 構 成 員

ご提出資料

教員養成機関の改変に関する提案

-主として現行制度の改変-

明治東洋医学院専門学校教員養成学科 矢野 忠

1. 背景

教員養成機関の検討は、あはきカリキュラム改善に連動して生じた課題である。その主旨は、教員養成学科に学ぶ学生の資質を向上させることであって、職業人を養成する教員としての資質を確実に養成することが主目的であり、このことが「あはき師」の養成の資質向上に直接することから極めて重要である。

2. 改変のポイント

現行の教員養成機関をベースとして改変するとすれば、下記のような改変案を提案する。

- 1) 教育期間は2年とし、変更しない。しかし、現状では概ねハーフ制で行われていることから学生の資質向上と臨床力を充実させるにはフルタイム制に移行する。
- 2) 現在、時間制であるが、これを単位制とする。
- 3) 単位制に移行するとともに現行の教育課程を見直す。

見直す要点は、現在進められているあはきカリキュラム改善検討会の結果を踏まえて検討する。具体的には、新しいあはきカリキュラムではコミュニケーション学、触察解剖、臨床生理学、運動学、OSCE、保険の仕組みと職業倫理、あはき史等を踏まえたカリキュラム

とする。また、解剖実習や生理実習、あはき理論の基礎的な実習などについても検討する必要がある。

- 4) 臨床実習については、新カリキュラムでは4単位となり、校外実習も展開されることになる。従って、それらに対応できるような臨床実習となるよう検討が必要である。
- 5) 臨床力を培うには、現行の概ねハーフ制度では困難であることから、フルタイム制として臨床力を2年間で徹底的に培うようにする。このことにより実務経験がなくてもそのことをカバーできるので入学資格としての実務経験を負荷することは必要としない。

3. 現行と改変の比較

項目	現行	改変案
教育期間	2年制	2年制
教育形態	概ねハーフ制	フルタイム制
時間制・単位制	時間制	単位制
カリキュラムの内容	新あはきカリキュラムに適応しない。	新あはきカリキュラムに適応したカリキュラムとする。
臨床実習	90時間	新あはきカリキュラムの臨床実習に適応できる内容とする
臨床力の養成	現行では鍼灸学科卒業後入学では臨床力を養うことは困難	鍼灸学科卒業後入学では臨床力を養うことは困難なので午後の時間帯で2年間しっかりと臨床力を培うようにする。

3. 教員養成機関の将来像

将来的には、現行の教員養成機関を3年制とし、前期2年を臨床専攻、後期1年を教員養成専攻とし、臨床指導がしっかりとできる制度とする。併せて大学院修了者を基礎資格とし、教員として必要な授業科目の受講及び臨床実務経験を付加した制度とし、高度教員養成機関の仕組みを指向する。

このような制度に改めることにより、卒後研修の場を提供するとともに専門学校教員としての臨床力の資質を培うことができる。